

日韓の海女の姿追う 鳥羽で李さん写真展

真を初披露する。
今回の展示では、世界で

鳥羽で李さん写真展

【鳥羽】中国遼寧省出身で鳥羽市の宿泊施設に勤務する李相海さん(四四)の写真展「海女礼賛」が十五日、同市大明西町の鳥羽ショッピングプラザハローで始まつた。二十六日まで。入場無料。

李さんは平成二十年、三島由紀夫の小説「潮騒」のロケ地巡りで同市の神島を訪れ、海女に出会った。以来、地元の鳥羽志摩で漁をする海女や同市菅島の「しろんご祭り」など海女の祭りのほか、岩手県久慈市な

ど県外に出掛け、海女の姿を外国人の視点から撮っている。

今年三月末にはユネスコの無形文化遺産に登録された韓国の海女の祭礼「濟州チルモリ堂 燃燈グッ」を撮影するため韓国済州島を訪れた。この時、荒天にもかかわらず、漁に出る海女の姿をカメラに収めた写

韓国の海女の写真の前に立つ李さん。鳥羽市大明西町の鳥羽ショッピング

日本と韓国にしか存在しない海女の写真三十点を展示。李さんは「写真展を通して多くの人が海女に関心を持ってほしい」と話していた。

